



No.1053 2007-05-13

日本共産党 須佐支部
電話 2016 fax 2223
kinn2@haginet.ne.jp

無料法律相談

5月 17日(木)
午前13時~14時30分
サンライフ萩
弁護士が相談を受けます

5月臨時議会 委員会構成替え 10日

萩市5月臨時議会が開かれ、委員会の構成替えや議案の審議がおこなわれました。

06年度補正予算と税条例改正

議案は、06年度の一般会計などの補正予算と地方税法改正に伴う市税条例、都市計画税条例の一部改正でした。

一般会計補正予算では、市債を財源にしていたものを一般財源に振替えるものです。地方交付税の増額5億8070万円の追加と市債の減額です。

市税条例の一部改正は、市長の専決処分でおこなわれたものと、条例改正案として上がったものがありま



す。4月1日から施行されたものは専決処分、それ以後のものが条例改正案となっています。

金持ち減税、庶民増税がおこなわれています。このことについて、市長はどんな見解を持っていますか」と質しました。

「まだ日本は累進性が高い」と市長

宮内議員が質疑を行います。「住宅バリアフリーにかかる改正などもありますが、上場株式の譲渡にかかる所得の減税のように金持ち減税の延長が盛り込まれています。民主的な税制では累進性が基本です。しかし、最近ではその累進性がゆるくなってきています。今回の地方税法の改正においても、

野村市長は「金持ち減税というのは株式譲渡にかかるものだと思います。もしこれを延長せずに打ち切ると市場相場が下落し混乱するという主張もあります。確かに累進性は税の基本ですが、たとえば相続税などでは未だ相当の税負担が残っています。欧米と比べても日本の累進性はまだ高いといわれています」と答えました。

市民の苦しみ充分理解していない
市長は、今回の税条例改正は、地方税法の改正で、自動的に改正しなければならぬものだと述べました。仕組みとしては法に従わざるをえないところですが、しかし、日本の累進性はまだ高いといっていて、金持ち減税を容認する姿勢は市民の苦しみを充分理解していないといわれても仕方ありません。

大企業金持ちは大もうけするが庶民は生活苦

史上空前の大もうけをしている大企業や大金持ちは税金を負担する能力があります。ところが、市民の多くは税金や公共料金の負担で生活が非常に厳しくなっています。

市民の代わりにきつぱりといふべき

そのときあつて金持ち減税を進め、庶民に増税をする「逆立ちの政治」に理解を示していたのでは市民のほうに顔を向けた姿勢とはいえません。相手が国であるうと誰であるうと、市民の立場に立って、庶民増税は認められないときっぱりといふて欲しいものです。

6月に住民税が上がります パニック再来か



6月には住民税の賦課通知が来ます。今年も庶民の多くは増税になります。昨年も市役所の電話が鳴りっぱなしでした。今年もパニックの再来が懸念されています。

自民党と公明党がすすめた 怒りは共産党の躍進で晴らそう

自民党と公明党はこの増税を進めました。

2007年 萩市議会委員会構成

委員長 副委員長 ()党派

総務委員会	教育民生委員会	経済委員会	建設委員会	議会運営委員会
藤田 克弘(緑)	中村 洋一(公)	平田 啓一(緑)	丸田 勘次(志)	西島 孝一(政)
小茅 稔(政)	長岡 肇太郎(志)	諸岡 皓二(市)	守永 忠世(風)	小林 正史(志)
江原 任子(公)	大村 赳夫(誠)	井関 稔(風)	青木 賢次(志)	井関 稔(風)
尾木 武夫(志)	柴田 保央(政)	岡 通夫(政)	近江 郁宣(緑)	岡 通夫(政)
齋藤 眞治(市)	杉山 浩司(政)	小林 正史(志)	木村 靖枝(市)	大村 赳夫(誠)
西島 孝一(政)	田中 良(緑)	左野 忠良(政)	世良 眞名夫(誠)	齋藤 眞治(市)
西元 勇(誠)	宮内 欣二(共)	松尾 義人(誠)	坪井 豊(政)	坪井 豊(政)
横山 賢治(風)	横山 秀二(志)			西元 勇(誠)
(共)日本共産党	(市)市民リベラル	(誠)新誠会	(政)政和会	平田 啓一(緑)
(公)公明党	(志)新志クラブ	(風)新風会	(緑)緑風会	丸田 勘次(志)



カエコの独り言

94 想像力どんどん湧きますように

掌の端末に青空が届いた。中国語では携帯電話を「手机」と書くんだって。画像は日本一の石灯籠が手前の藤棚を遙かに突きぬけて真っ青な空にそびえている。そういえば、母校の藤棚は無事だろうか。葉桜が歌い、蒲公英の綿毛が風花のように舞い、虹の色ほどの花々が踊る季節。乳色のハナミズキもきらきら光る。遠き山からツーリングのバイク音が木霊したりもする。何の予定もない休日の朝は、野良猫に負けにくい程度の欠伸を連発しながら、ラジオの周波をKRYに合わせ、渡辺アナウンサーの声を聴きながらキッチンで濃いめのコーヒー。彼の声は決して朝の声ではないと思うのだけど、焦げた食パンにフレッシュチーズが意外と合う、みたいな感じで素直に目が覚め、キウイももう一個ほおぼっちゃえという気になる。山本アナウンサーのハイテンションは曇りの朝でも晴れ気分

してくれる。ちょっと笑い過ぎだけど・・・先週も何気なく聴いていると、「花のまち」という曲が流れてきた。懐かしいトワ・エ・モアの歌声だった。ふと「花をかう日」(あまんきみこ作/ポブラ社)という絵本を思い出した。あまんきみこさんの絵本は心の底がじんわりと優しくなるから好き。ページを開くとポニーテールの髪に空色のリボンをつけた「わたし」がお花屋さんで花の匂いをすんすん嗅いでいる。「ユミねえちゃん」のために選んだ甘いふんわりしたやさしい匂い。絵本のなかの「アラセイトウ」という花の匂いと姿を、目を閉じて想像してみた。視覚に障害のある人たちは、こうして臭覚や触覚で形容を想像するのかもしれないね。最近ではこの想像力がなかなか豊かに働かない。なんでもかんでも物が溢れている時代だからなのかもしれない。いつだったか、あるラジオ番組で「昔の人に比



べ、現代人は使う言葉が減っている。たとえば雨にしても五月雨、時雨、驟雨がある。云々・・・」などと言っていた。そうだよ、日本には日本独自の言葉がたくさんある。色などは数えきれないくらいの呼び名があり、伝統文様は見ているだけでも飽きないし、文様名も日本ならではの名称で興味深い。俳句に用いる季語にしても、天文、地理、時候や生活、行事などあらゆる自然との共存から生まれた言葉で溢れている。昔の人が作ったこうした言葉はすばらしい想像力から生まれたのだと思う。でも普段はほとんどそういう言葉は使わないし、あえて使ってみたりすると「ほお、なかなか詩人じゃん」なんて言われるし。でもさ、たまにはきれいな日本語を聴くと想像力が湧いてくるもんなのよ。ある日の夜も随分遅く、ラジオから朗読が流れていたの。芥川竜之介の「杜子春」をNHKの女性アナウンサーが情感を込めて読んでいた。そりゃもう想像力を掻き立てられたよ。なんてきれいな日本語で書かれているんだろうと改めて当時の

作家たちの才能に脱帽したね。そんなわけで、最近ではテレビではなくもつばらラジオを聴くことにしている。テレビを見ない習慣がつくと読書の時間も増えてくるしね。4月は今年になって出た4冊目の「千里眼」(角川文庫)を読んだ。2月頃に一度に3冊まとめて読んだからには、ちゃんと4冊目も読まなきゃね。松岡圭祐さんのは読み始めると全部続けて読みたくなるんだよなあ。「催眠」も読もう・・・。やっぱり本はいい。一番のストレス解消法だもん。それと、ストレス解消といえば久しぶりに日本映画を観た。「大帝の剣」っていうヤツ。そのおどろおどろしい小説とは違って、なんかパッカパカしくておかしかった。東急ハンズ横のエレベーターに乗ると「ハンズの上の劇場であったので」(聴覚障害者のために日本語字幕スーパーとなっております)という広告が貼ってある。嬉しくて思わず拍手して「ブラボー！やるじゃん、東映！」と小さく叫んだ。やったよ、障害者にやさしい映画があったぞー。



その責任は大きい。増税の怒りは夏の参院選で暮らして、晴らしましょう。

委員会構成は議長権限で

委員会の構成替えは、議長権限による選任でおこなわれました。事前に希望が

議会運営委員選任について

宮内議員が申し入れ



宮内議員は、委員の任期が切れることから議会運営委員の選出について改善するよう、議長に4月24日文書で申し入れました。萩市議会は議会運営委員会の委員は、会派の代表で構成するとしています。会派は3人以上と決めたため、政党所属の議員は共産党(1)、公明党(2)どちらも議会運営委員会には入れません。本来、政党は会派と同等の扱いをするものです。今回の申し入れは、百歩譲って、無会派から一人委員を選ぶことを示しています。

改むるに憚る事なかれ

議会の運営については、選挙がおこなわれた直後には、前の議会の議会運営委員会が決められたルールでやるという、今回はまだ1年しかたたないという理由で受け入れません。萩市議会が、旧態依然とした性格を持つ背景には、改革することに非常に腰が重いとすることがあります。「改むるに憚る事なかれ」といわれるように、良いと思うことは時間をおかずに変えていくことが必要です。

議会運営委員選出についての申し入れ

委員会委員の任期が1年ということから、委員会条例第8条に基づく委員の選任がおこなわれることになっています。この機会にあたり、議会運営委員の選任について、従来の各会派への割り当てにより選任される方法を改善することを申し入れます。

現在の会派所属議員数による配分方式では、会派に所属しない議員は議会運営委員会に入ることはできません。会派を3人以上とする条件があることから、少数者が排除されています。私は政党に所属していることから、現在ある会派に所属することはできません。そのため、無会派となり、議会運営委員会に所属する道はありません。そこで、会派を結成しない議員も議会運営委員会に選任する方法をとることを求めます。

本来なら、会派と党派は、人数が少なくても、それぞれの代表を議会運営委員会に選任するのが望ましいと考えています。しかし、そこにいたらなくても、たとえば、残任期が3年ですら、現在、会派に属さない3議員を1人ずつ、1年ごとに議会運営委員に選任する方法が考えられます。

以上、少数意見の反映という民主主義の一つの柱を萩市議会に体现するために申し入れます。